



岐阜市立岐阜小学校で「防災教育」を行います ～全校生徒を対象に災害対策車両の見学会を実施～

概要

幼少期からの防災教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待されます。

この度は、岐阜市立岐阜小学校に木曾川上流河川事務所が保有する災害対策車両を派遣して、全校生徒を対象にした「災害対策車両の見学」を行います。また、併せて5年生を対象にした総合学習の中で「防災出前講座」を実施します。

1. 開催日時 平成30年1月16日(火) 9時35分～12時15分まで
2. 開催場所 岐阜市立岐阜小学校
3. 対象 岐阜市立岐阜小学校全校生徒(1～6年生 約300名)
4. 詳細 【災害対策車両の見学 9:35～12:15】
 - ・9:35～10:20「2限目」・・・1、6年生対象
 - ・10:40～11:25「3限目」・・・2、5年生対象
 - ・11:30～12:15「4限目」・・・3、4年生対象

※見学車両：対策本部車、排水ポンプ車、照明車(別紙参照)
排水ポンプ車は学校のプールにおいて排水の実演を行います

【防災出前講座 11:30～12:15】

 - ・5年生(41名)を対象に、前半では「災害時の国土交通省の取り組み(公助)」について講義し、後半では「長良川で水害が発生した場合、自分たちはどうしたらいいのか(自助)」について児童が考えます。
(前半：木曾川上流河川事務所が担当、後半：岐阜小学校の先生が担当)

※取材を希望される場合は、各時間(2～4限目)の開始前までに岐阜小学校へお越し下さい。
5. 解禁 指定なし
6. 配布先 岐阜県政記者クラブ
7. 問合せ 木曾川上流河川事務所
 - 副所長 戸谷 三知郎
 - 保全対策官 勅使河原 雅敏
 - TEL 058-251-4265(防災情報課直通)
 - FAX 058-251-6594



さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆ 現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

やく から

◆ 小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)



きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆ 緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

